



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報



職業奉仕米山月間

第711回 平成13年10月10日(水)



〔本日のプログラム〕 2001～2002年度 国際ロータリーのテーマ

- | | |
|-------------|---|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ロータリーソング | |
| 「我等の生業」 | |
| 3. 食 | 事 |
| 4. 会長の時 | 間 |
| 5. 幹事報 | 告 |
| 6. 委員会報 | 告 |
| 7. 点 | 鐘 |

- 次回予告
- ★10月17日(水)
クラブ創立記念
プログラム
 - ★10月24日(水)
クラブフォーラム
(会員増強)

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会長	吉田康一郎
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	宮原 建樹
事務局	宮崎県佐土原町大字下郷3887-17	幹事	岩下 廣美
	☎880-0212	会計	垂水 敏雄
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会費委員長	池田 仁志

第710回例会記録

(2001. 10. 3)

☆会長の時間

会長 吉田康一郎 君

皆様今日は。今日は710回の例会です。始めにビジターの紹介を致します。西都RCよりお越しく下さいました、奥口佐喜人君です。ようこそ！

早いもので、もう10月、今年もあと3ヵ月足らずとなりました。秋は食欲の秋、スポーツの秋です。10月の中旬頃までは各地で運動会が催されます。

ロータリーも今月は職業奉仕と米山月間でもあります。

職業奉仕と米山奨学委員会の委員長より一言づつ意見を述べて頂きたいと考えております。

本日は現在、トヨタ、ホンダ、日産等が地球に優しい…というキャッチフレーズでマスコミ等でおなじみのハイブリットカーについてお話をしたいと思います。条件付きでこのハイブリットカーに対して国が補助金を出すということです。

その条件とは

- ①年間平均走行距離が6000K以上である事
- ②下取り車があること
- ③通勤等に常時使用する事
- ④更に通勤に使用している車の代替であること
- ⑤利用区間が片道直線距離で10K以上又は実走行距離で12K以上である事
- ⑥公共交通機関等を利用する場合の通勤時間が自転車を利用する通勤時間よりも長い事

等が補助金を申請するのに必要な条件との事です。しかし、現在各メーカーともさほど力を入れていないのが現状の様です。

ハイブリットカーはフロントとリヤにモーターを2つ備えて、バッテリーを利用して走る車で、基本的には発進時にモーターを使い、通常走行になったら、ガソリンに変わるといった車で公害防止につながり、1ℓ当たり18K走行という数値で、これから10年もすればこういう車に変わって行くのではないかと思われま

す。(※最大補助金は最大で¥250,000となっています)
車の販売台数について、先日聞きました。福岡と宮崎の販売の余りの格差に愕然としました。

トヨタで例をとりますと、北九州市ではトヨタのみの販売台数が6,500~7,000台、宮崎ではトヨタ全て(トヨタ、カローラ、ネットトヨペット、ビスタ)1,400~1,500台とのことから市場の違いが分かります。

車市場の販売台数を見て、経済の活性化状況が窺えます。

宮崎も何とか活性化に向けての努力が必要だとつくづく思いました。

☆幹事報告

幹事 岩下廣美 君

1. 例会変更通知

- ①10月16日(火)は職場訪問の為、
時間 12:20~
訪問先 小林市学校給食センター
に変更
小林中央RC
- ②10月23日(火)例会は職場訪問の為、
訪問先 鮫島病院
に変更
日向東RC

- ③10月15日(月)は職場訪問のため、
 時間 12:30~
 訪問先 美々津CC に変更
 日向RC
- ④10月17日(水)は早朝例会のため、
 時間 6:00~
 場所 米の山 に変更
 日向中央RC

他に西都RCと高鍋RCより10月の例会案内が来ております。両クラブとも変更及び休会はありません。

2. 米国での多発テロ事件に対するお見舞協力金のお願いがガバナーより来ております。
 ロータリアン一人当たり¥1,000
 送金期日 10月15日

ご協力をお願い致します。

3. 2002~2003 年
 宮崎県中部分区ガバナー補佐予定者のご紹介

氏名 菊池 平氏
 生年月日 s. 8年11月28日生
 所属RC 宮崎西RC (コンピュータ)
 (シニア・アクティブ)

ロータリー 歴

1994年	再入会
1996~1997年	プログラム 委員長
1997~1998年	ローターアクト 委員長
1998年	宮崎西フェニックスオーションアクトクラブ 設立
1998~1999年	副会長
1999~2000年	会長エレクト
2000~2001年	会長

西都RC主催IM
 第1分科会(新世代の育成)
 リーダー

2001~2002年 国際奉仕委員会
 2001年 ロータリー 財団
 (ボ-ルハリス・フェロー)

☆出席報告

委員長代理 田村 勝二君

会員数	29名
例会出席者	24名
出席率	83%
メイクアップ者数	1名
修正出席率	86%
欠席者名	神崎寺、宮本、森、太田

☆新世代委員会

委員長 恒吉 正志君

第24回 中部分区青少年指導者育成研修会の案内が下記の通り来ております。

記

期日 平成13年11月10日(土)~11日(日)
 会場 宮崎市山崎町浜山
 コテージ・ヒムカ(主会場)及び周辺施設

募集人員 各ロータリー 当たり 研修生3名以上
 ロータリアン3名
 (研修生 20歳以上30歳未満)

登録料 ロータリアン一人 @ ¥5,000
 研修生 は無料

研修生の3名の推薦方をお願い致します。

☆狂牛病について

濱田 松太郎 君

この事に就きましては既に皆様方も、新聞、テレビ等を通じ、ご存じの事と思いますが、去る8月6日、千葉県白井市のある酪農家から、出荷された乳牛の肢が立てなくなる異常な状態を示すので、脳症を疑い、検査した処、初めは陰性だったようですが、再度脳の組織を顕微鏡検査した処、脳の至る所に穴を発見、これは変だという事で、検体(圖)を英国獣医研究所へ送り、検査の結果、本物の牛海綿状脳病ということが確定した訳であります。

我が国に於ける狂牛病発生皆無の神話がいつぱんにして吹き飛んだことになります。昨年3月は宮崎県におきましても口蹄疫が発生しましたが、幸い最小限度に被害を食い止め、大事に至らなかった事は不幸中の幸いであったかと思えます。そのほとぼりが冷めやらない裡にこのような事が発生しますと、畜産農家に及ぼす影響は大と言わなければなりません。例えば、風評被害、肉食離れ、出荷停止、等、考慮されます。

国においては、これが原因として、外国産の骨肉粉飼料の給与を挙げており、10月4日より、本品の輸入禁止、製品の買い上げ焼却、発生乳牛同居牛並びに原産地、北海道産同居牛70数頭の焼却処分をすると共に、全国で牛300万頭の検査をしたところ、今の時点では異常牛は発見することは出来なかったということで、一先ず、安心という所であります。

狂牛病は潜伏期が長く、7、8年と言われており、油断はなりません。

尚、本病は、牛乳、牛肉からは感染は認められず、牛の脳、神経、眼等が不可とされ、人のクロイツフェルトヤコブ病(VCJD)を発生し、英国でこれまでに116人が感染し、牛が181,255頭罹り、欧州全体で僅かずつ被害が出ているようです。

私共、獣医師といたしましては、防疫の一端として、畜産農家を巡回時に際しましては、又は変わった意味の一段の注意が必要になることは言うまでもない事と、心を引き締めて参ります。

☆社会奉仕委員会

委員長 中武 幹雄 君

先日『ダメ。ゼッタイ』国連支援募金事務局に皆様方にご協力頂き、送金いたしました。そのお礼のハガキが参りました。以下そのハガキより。

昨年度は皆様のご協力により、貴重な浄財3000万円を「民間国連ヤング大使」を通じて国連に寄付することが出来ました。浄財は国連を通じて、開発途上国の民間団体の薬物乱用防止活動を支援し、薬物乱用のない社会環境作りに活用されます。この活動は国連に於いて多大な評価を受け、各国から称賛を受けました。

以下略



Happy Voice

誕生祝いを頂き、有り難う御座います。優秀な新会員を迎え、佐土原RCの充実躍進が大きく期待されます。

私も微力ながら、頑張っていきたいと考えております。

藤堂 孝一

